

## 変動型最低制限価格制度のご案内

世田谷区財務部経理課契約係

本件については、変動型最低制限価格制度の対象になります。  
最低制限価格を下回る額の入札者は落札者とならず、落札者がいない場合に行う再度入札には参加できません。また、開札後に変動型最低制限価格の算定を行うため、落札者は即時には決定せず一旦保留といたします。落札者についてのお問い合わせはご遠慮いただけますようお願いいたします。変動型最低制限価格制度の算定方法の詳細については以下のとおりです。

### 1 変動型最低制限価格制度の算定方法

#### 1) 有効参加者の判定

応札者のうち以下の者を除いた者を有効参加者とする。

- ・入札額が予定価格を超える者
- ・入札額が予定価格の1割以下の者
- ・指名停止措置、落札制限対象等その他の事由により入札が無効となる者

#### 2-1) 有効参加者数が3者以上の場合の算定方法

①有効参加者数に60%を乗じた数を標本数とする。(1未満の端数は切上げ)

$$\text{有効参加者数} \times 60\% = \text{標本数}$$

②有効参加者のうち、価格が低いほうから序列にして標本数にあたる順位までの入札額の平均額を「標本平均額」とする。

③標本平均額に80%を乗じて得た額を当該入札における最低制限価格とする。

$$\text{標本平均額} \times 80\% = \text{最低制限価格}$$

#### 2-2) 有効参加者数が2者以下の場合の算定方法

有効参加者数が少数の場合には、予定価格に60%を乗じて得た額を最低制限価格とする。

$$\text{予定価格} \times 60\% = \text{最低制限価格}$$

## 2 変動型最低制限価格制度の算定例

### (1) 事例1 (他の参加者と著しく乖離する安価な入札があった場合)

予定価格 8,500,000 円の場合 (実際には非公表)

|     |             |                                                                                   |           |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| A 社 | 800,000 円   | 有効参加者から除外                                                                         | ⇒最低制限価格未滿 |
| B 社 | 5,000,000 円 |  | ⇒最低制限価格未滿 |
| C 社 | 7,600,000 円 |                                                                                   | ⇒落札       |
| D 社 | 7,800,000 円 |                                                                                   |           |
| E 社 | 8,000,000 円 |                                                                                   |           |
| F 社 | 8,400,000 円 |                                                                                   |           |
| G 社 | 9,000,000 円 | 予定価格超過                                                                            |           |

① 予定価格の1割以下であるA社を除き、有効参加者数B～F社5者に基づき、標本数を算出する。

$$\text{有効参加者数 5 者} \times 60\% = 3 \text{ 者}$$

⇒標本数は3者

② B～D社の3者の入札価格から標本平均額を算出する。

$$\Rightarrow \text{標本平均額 } 6,800,000 \text{ 円}$$

③ 標本平均額から最低制限価格を算出する。

$$\text{標本平均額 } 6,800,000 \text{ 円} \times 80\% = \text{最低制限価格 } 5,440,000 \text{ 円}$$

⇒A社、B社は最低制限価格未滿となり、C社が落札する。

### (2) 事例2 (他の参加者と著しい乖離が生じなかった場合)

予定価格 8,500,000 円の場合 (実際には非公表)

|     |             |                                                                                     |     |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| A 社 | 7,000,000 円 |  | ⇒落札 |
| B 社 | 7,200,000 円 |                                                                                     |     |
| C 社 | 7,500,000 円 |                                                                                     |     |
| D 社 | 7,600,000 円 |                                                                                     |     |
| E 社 | 7,700,000 円 |                                                                                     |     |
| F 社 | 7,800,000 円 |                                                                                     |     |
| G 社 | 8,000,000 円 |                                                                                     |     |

① 有効参加者数A～G社7者に基づき、標本数を算出する。

$$\text{有効参加者数 7 者} \times 60\% = 4.2 \text{ 者}$$

⇒端数切上げにより標本数は5者

② A～E社の5者の入札価格から標本平均額を算出する。

⇒標本平均額 7,400,000 円

③標本平均額から最低制限価格を算出する。

標本平均額 7,400,000 円 × 80% = 最低制限価格 5,920,000 円

⇒最低制限価格以上であるため、A社が落札する。

(3) 事例3 (予定価格超過の入札や辞退が多く、有効参加者が少数となった場合)

予定価格 8,500,000 円の場合 (実際には非公表)

|    |             |                 |     |
|----|-------------|-----------------|-----|
| A社 | 7,900,000 円 | ↑<br>有効参加者<br>↓ | ⇒落札 |
| B社 | 8,200,000 円 |                 |     |
| C社 | 8,700,000 円 | } 予定価格超過        |     |
| D社 | 8,800,000 円 |                 |     |
| E社 | 8,850,000 円 |                 |     |
| F社 | 辞退          |                 |     |
| G社 | 辞退          |                 |     |

有効参加者数はA～B社2者のため、予定価格に基づき最低制限価格を算出する。

予定価格 8,500,000 円 × 60% = 最低制限価格 5,100,000 円

⇒最低制限価格以上であるため、A社が落札する。